

引用・参考文献

- 相田 勇(1974): 地震の断層モデルによる津波の数値実験, 地震第2輯, 1,27, 141-154.
- 青山幹雄(1997): 宮崎の田の神像,210p.
- Aramaki Shigeo(1984):Formation of the Aira Caldera,Southern Kyushu,Geophysical Research,89,B10,8485-8501,(American Geophysical Union).
- 安藤 武(1971): えびの・吉松地区地震によるシラスの崩壊について,防災科学技術総合研究報告,26,147-155.
- 石黒耀(2002): 死都日本,講談社,520p.
- 井村隆介(2004): 霧島火山の生い立ち,徳田屋書店,16p.
- 井村隆介・小林哲夫(1991): 霧島火山群新燃岳の最近300年間の噴火活動,火山,2,135-148.
- 井村隆介・小林哲夫(2001): 霧島火山地質図,地質調査所,p8.
- 岩切章太郎(2004): 心配するな工夫せよ,岩切章太郎翁 半生を語る,鉱脈社,294p.
- 宇佐美龍夫編著(1994): わが国の歴史地震被害一覧表,(社)日本電気協会,772p.
- 宇佐美龍夫(1997): 新編日本被害地震総覧[増補改訂版],東京出版会,CD-ROM版.
- 宇佐美龍夫(2003): 最新版日本被害地震総覧,東京出版会,605p.
- 内嶋善兵衛・竹前 彬・岩倉尚哉・平木永二(2003): 宮崎の四季と気象,鉱脈社, 329p.
- 内田一郎・山崎達雄(1980): 九州の火山地域における戦後の主要な地盤災害(資料),文部省科学研究費自然災害特別研究研究成果(研究代表者山崎達雄),92-102.
- 遠藤 尚・藤本 廣・金子弘二(1972): 47年7月豪雨による宮崎県えびの市の山津波,第9回災害科学総合シンポジウム論文集,209-212.
- 大石道夫(1985): 目で見る山地防災のための微地形判読, 鹿島出版会, 267pp.
- 大町三男(1984): 史跡で綴る都於郡伊東興亡史,640p.
- 「大淀川の歴史」編集委員会(1998): 大淀川の歴史,建設省九州地方建設局宮崎工事事務所,412p.
- 活断層研究会編(1991): 新編日本の活断層一分布図と資料一,図4枚,東大出版会,437p.
- 九州活構造研究会編(1989): 九州の活構造,付図5枚,東京大学出版会,553p.
- 嶺南文庫 寄託 1035 庚戌抄書 十三,宮崎県立図書館保管.
- 清武町安井息軒顕彰会(1998): 歴史散歩・きよたけ 第4集,鉱脈社,68p.
- 経済安定本部資源調査会事務局(1951): シラス災害の実態とその対策 鹿児島,宮崎,両県下に於ける,57p.
- 国土交通省富士砂防事務所(2003): 富士山宝永噴火と土砂災害,143p.
- 国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所・宮崎県土木部砂防課(2004): 『宮崎の砂防』,30p.
- 小山真人・西山昭仁・井上公夫・今村隆正・花岡正明(2001)富士山宝永噴火の推移を記録する良質史料『伊東志摩守日記』,歴史地震,17号,80-888p.
- 砂防地すべり技術センター(2003): 平成15年度火山噴火警戒避難対策事業但し設計委託,宮崎県報告書.
- Shiono, K., T. Mikumo and Y. Ishikawa(1980): Tectonics of the Kyushu-Ryukyu arc as evidenced from seismicity and focal mechanism of shallow to inter-mediate-depth earthquakes, Journal of Physics of the Earth ,28, 17-43.
- 社団法人全国治水砂防協会(2000): 砂防のこころ一矢野義男追悼著作選一,80-87.
- 社団法人全国治水砂防協会(2004): 砂防便覧,平成15年版.
- 杉山 実・井上公夫(2006): Hi-net 地震データを用いた台風14号による宮崎県内大規模崩壊の発生時刻推定.
- 続群書類完成会(1965): 新訂 寛政重修諸家譜 第十四,247-251p.
- 総理府地震調査研究推進本部地震調査委員会(1997): 日本の地震活動一被害地震から見た地域別の特徴一,(財)地震予知総合研究振興会地震調査研究センター,395p.
- 高谷精二(1992): 日南海岸の斜面崩壊に関する研究,1.崩壊の分類,南九州大学園芸学部研究報告,自然科学・人文社会科学,22,197-202.
- 高谷精二(1994): 日南海岸(国道220号線)の斜面崩壊,地すべり,30,4,41-45.
- 高谷精二・仲村善文(1980): 宮崎県高鍋町ヒバリヶ丘東端部の地質断面について,南九州大学園芸学部研究報告(自然科学・人文社会科学),10,69-77.
- 田中重好(1999): 大都市災害の無力感にどう対処するのか一後衛の災害研究一, 自然災害科学, 18, 1, 3-8.
- 谷口義信(1985): 火山灰の土砂流動発生に果たす役割,砂防学会誌,37,6, 4-10.
- 谷口義信・高橋 正佑(1988): 土石流流下の時の前駆兆候および流れの実態一桜島有村川の例一,砂防学会誌,41,4,26-28.
- 谷口義信・高峰光一・田中宏征(1998): 1993年宮崎県南郷村に発生した風倒木に関する地形的・土質力学的考察, 砂防学会誌,50,5,34-42.
- 露木利貞・小林哲夫(1980): 霧島地域にみられる地すべり型崩壊について,自然災害科学総合シンポジウム講演論文集,17,335-336(文部省科学研究費自然災害特別研究自然災害科学総合研究班).
- 徳永孝一(1991): 宮崎県内の町村廃置分合について一明治二十二年の町村制施行を中心に一,宮崎県地方史研究紀要,第17輯,161-170.
- 土質工学会シラス研究委員会(1968): えびの地震と地盤災害,土と基礎,19,6,47-59.
- 富田克利・中西三正・大庭 昇(1975): 宮崎県えびの市真幸地区の変質粘土鉱物について一とくに地すべり粘土について一,鹿児島大学理学部紀要(地学・生物学),7,1-14.
- 永井哲雄(1998): 元禄期の日向飢肥藩一日高浅右エ門が生きた時代一,鉱脈社,205p.
- 野村・田中編(1999): 災害人文社会科学との連携を求めて,自然災害学会誌,Vol.18,No.13-9.
- 林 重徳・落合英俊・徳永 滋(1990): 熊本・宮崎・鹿児島各県の地すべり災害と防災ポテンシャルの変遷,自然災害科学研究西部地区部会報,10,95-100(文部省重点領域研究自然災害総合研究班西部地区部会).
- 平尾公一・大久保 駿(1971): えびの・吉松地区地震による山くずれの発生とその拡大に関する研究, 防災科学技術総合研究報告,26,157-189.
- 平部嶺南(1929): 日向地誌,日向地誌刊行会,1620p.
- 藤本 廣(1971): 災害実例とその問題点,施工技術(日刊工業新聞社),4,6,129-144.
- 藤本 廣(1971): 進行性破壊による地すべりとその事例,第12回地すべり対策技術研修会テキスト,1-11.
- 藤本 廣(1975): シラス層の陥没災害について,第12回自然災害科学総合シンポジウム講演論文集,143-144.
- 藤本 廣(1975): シラスの侵食とパイピング現象の問題点,土と基礎,23,2,221-228.
- 藤本 廣(1992): 1662年(寛文二年)一日向灘地震の沿岸被害記述に関する考察,自然災害科学研究西部地区部会報,13,102-107(文部省重点領域研究自然災害総合研究班西部地区部会).
- 藤本 廣(1993): “1662年(寛文2年)一日向灘地震”の沿岸被害記述に関する考察,自然災害科学,J.JSND 12-1,1-10.
- 藤本 廣(1997): 宮崎県における四万十層層上部日南層群の地すべり事例,自然災害における地盤の防災および構造物の復旧と補強シンポジウム論文集,281-290.
- 藤本 廣(1998): 1972年えびの市真幸の土石流災害のこと一1997年鹿児島県出水市の土石流災害によせて一,宮崎応用地質研究会会報『めらんじゅ』,9,31-38.
- 藤本 廣(1998): 宮崎県の地すべりと1972年えびの市真幸の土石流災害,地すべり学会九州支部平成10年度学術講演会講演論文集,15-27.
- 藤本 廣(2000): 災害記念物の保存について,自然災害西部地区部会報・論文集,No.24,73-76.
- 藤本 廣(2002): 宮崎県における土木文化遺産,平成13年度全日本漁港建設協会講演集,21-31.
- 藤本 廣(2002): スライドで見る1968年えびの地震による“しらす”地盤災害,平成13年度応用地質学会九州支部研究発表会論文集,32-35.
- 藤本 廣(2003): いわゆる“災害文化”の伝承について,日本地すべり学会九州支部平成15年度学術講演会講演論文集,1-10.
- 藤本 廣・横田 漢(1986): 第三紀宮崎層群切取斜面に発生した進行性破壊による地すべり,自然災害科学研究西部地区部会報,2,55-59(文部省自然災害特別研究(1)自然災害科学総合研究班西部地区部会).
- 藤本 廣・横田 漢・白坂一富・時枝 繁(1993): 宮崎県去川地すべりについて,自然災害科学研究西部地区部会報,15,1-7(文部省重点領域研究自然災害総合研究班西部地区部会).
- 前田博仁(2003): 鶴戸まいりの道,164p.

三股町(1969): 広報みまた,昭和44年8月号, No.68.
三股町沖水川治水史編さん会(1971): 沖水川治水史, 110p.
宮崎県建設技術会(1989): 宮崎県土木史, 704p.
宮崎県砂防課・道路保全課・河川課(1994): 平成5年宮崎県豪雨災害一国土を水災から守ろう一, 82p.
宮崎県総務部消防防災課(1969): えびの地震の記録, 455p.
宮崎県土木部河川課(1983): ゲリラ豪雨57災一昭和57年災害の記録一, 49p.
宮崎県土木部砂防課(1981): 宮崎県の砂防一砂防事業100年記念一, 106p.
宮崎県土木部砂防課(2004): 台風16号・18号・23号により発生した土砂災害, 22p.
宮崎県土木部砂防課: 昭和47年白川山津波災害資料, CD-R.
宮崎県日日新聞(2005): 平成17年1月13日「海神の道」記事.
宮崎県防災会議(1998): 宮崎県地域防災計画, 92-98, 861-894.
宮崎県立図書館(1996): 佐土原藩騒動記, 195p.
宮崎県立図書館(1981): 佐土原藩譜(忠興公, 久雄公, 忠高公之部), 94丁.
宮崎県立図書館(2003): 平成15年度特別資料展第2回展示パンフレット, 1-22.
宮崎地方気象台(1967): 宮崎県災異誌 西暦675-1965年, 535p.
宮崎地方気象台(1983): 宮崎の気象100年一宮崎地方気象台創立100周年記念誌一, 160p.
三好利庵(1991): 宮崎県における地震・津波・火山噴火の災害史, 宮崎県地方史研究紀要, 第17輯, 23-40.
三好利庵(1996): 中・近世の日向国災害史, 鉅脈社, 100p.
Yagi, Y. and M. Kikuchi(2003): Partitioning between seismogenic and aseismic slip as highlighted from slow slip events in Hyuga-nada, Japan, Geophysical Research Letters, 30, 2, 1087, doi:10.1029/2002GL015664, 59-1-4.
矢野義男(1964): 特殊土地帯の防災工法, 山海堂, 土木ライブラリー(28), 142p.
山内豊聡(1975): シラスの特性と問題点, 土と基礎, 23, 2, 9-12.
山崎達雄・松本徂夫・露木利貞・林正雄・遠藤尚・岩松暉・小林哲夫・中村誠佑・藤原宏志(1980): 九州の火山地域における地盤災害, 文部省科学研究費自然災害特別研究研究成果(研究代表者 山崎達雄), 13-24.
「六十年のあゆみ」編集委員会(1988): 六十年のあゆみ, 建設省九州地方建設局宮崎工事事務所, 815p.

<市町村史>

綾郷土史編纂委員会(1982): 綾町制50周年記念誌, 1227p.
えびの市郷土史編さん委員会(1994): えびの市史 上巻, 492p.
えびの市郷土史編さん委員会(1998): えびの市史 下巻, 739p.
えびの市(2001): えびの2000一えびの市制30周年記念要覧一, 63p.
えびの市(2001): えびの2000資料編一えびの市制30周年記念要覧一, 19p.
甲斐勝(1973): 日向市の歴史, 日向市役所総務課, 750p.
甲斐勝(1976): 天領と日向市, 291p.
川南町(1983): 川南町史, 1087p.
北浦町(2002): 北浦町史 通史編, 1636p.
木城町(1991): 木城町史, 1242p.
北方町史編纂委員会(1972): 北方町史, 615p.
北郷町史編纂委員会(1965): 北郷町史, 989p.
木花郷土誌編集委員会(1980): 木花郷土誌, 821p.
「清武町の昭和」編集委員会(1996): 清武町の昭和集, 197p.
串間市(1996): 串間市史, 1097p.
国富町郷土史編さん委員会(2001a): 国富町郷土史 上巻, 392p.
国富町郷土史編さん委員会(2001b): 国富町郷土史 下巻, 411p.
五ヶ瀬町(1981): 五ヶ瀬町史, 956p.
小林市史編纂委員会(1965): 小林市史 第一巻, 768p.
小林市史編纂委員会(2000): 小林市史 第三巻(戦後編), 1430p.
西郷村(1993): 西郷村史, 1293p.
佐土原町史編纂委員会(1982): 佐土原町史, 1117p.
沢武人(1989): 北川村郷土史料集, 1冊.
椎葉村(1994): 椎葉村史, 1107p.
新富町(1992a): 新富町史 通史編, 1327p.
新富町(1992b): 新富町史 資料編, 621p.
須木村史編さん委員会(1994): 須木村史, 1060p.
園田進(1971a): 北郷村史 上巻, 764p.
園田進(1971b): 北郷村史 下巻, 1366p.
高岡町史編さん委員会(1987): 高岡町史 下巻, 922p.
高崎町史編纂委員会(1990): 高崎町史, 1445p.
高城町史編纂委員会(1989): 高城町史, 1145p.

高千穂町(1973): 高千穂町史, 939p.
高鍋町史編さん委員会(1987a): 高鍋町史, 1212p.
高鍋町史編さん委員会(1987b): 高鍋町史 年表, 193p.
高原町史編纂委員会(1984): 高原町史, 779p.
田野町史編纂委員会(1984): 田野町史 下巻, 935p.
田野町史編纂委員会(2000): 田野町史 続編, 556p.
都農町(1998): 都農町史, 1269p.
東郷村郷土誌編纂会編(1967): 東郷村誌, 419p.
東郷町(1999a): 東郷町史 通史編, 1293p.
東郷町(1999b): 東郷町史 別編(郷土事典), 662p.
南郷村史編纂委員会(1996): 南郷村史, 1173p.
南郷町郷土史編さん委員会(1980): 南郷町郷土史, 1211p.
西米良村史編さん委員会(1973): 西米良村史, 1162p.
日南市史編さん委員会(1978): 日南市史, 837p.
野尻町(1994): 野尻町史, 1066p.
延岡市史編纂委員会編(1963): 延岡市史, 1101p.
延岡市史編纂委員会編(1983): 延岡市史 上巻, 940p.
延岡市史編纂委員会編(1993): 延岡市史 市政六十周年記念十年史, 836p.
東米良郷土誌編さん委員会(1989): 郷土誌東米良, 999p.
日之影町(1983): 台風11号による集中豪雨の記録.
日之影町(1999): 日之影町史二 資料編一 自然, 429p.
日之影町(2001): 日之影町史十一 通史編, 1261p.
峰村義成(2001): 北郷村郷土史 いにしえ, 北郷村教育委員会, 184p.
三股町史編集委員会(1985): 三股町史改訂版, 602p.
都城市史編纂委員会(1997): 都城市史 通史編 自然・原始・古代, 747p.
宮崎県(1991): 宮崎県史 史料編 古代, 819p.
宮崎県(1994): 宮崎県史 史料編 近世三, 1103p.
宮崎県(1996): 宮崎県史 史料編 近世五, 1108p.
宮崎県(2000a): 宮崎県史 通史編 近世上, 795p.
宮崎県(2000b): 宮崎県史 通史編 近世下, 915p.
宮崎県(2000c): 宮崎県史 通史編 近・現代一, 1243p.
宮崎県東臼杵郡門川町(1974): 門川町史, 510p.
宮崎市史編纂委員会(1959): 宮崎市史, 943p.
宮崎市史編さん委員会(1978): 宮崎市史 続編 下巻, 1807p.
諸塚村(1962): 諸塚村史, 888p.
山田町誌編纂委員会(1994): 山田町誌, 423p.
山之口町史編纂委員会(1974): 山之口町史, 541p.

<ウェブサイト>

気象庁 <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
北川町 <http://www.town.kitagawa.miyazaki.jp/>
清武町 <http://www.town.kiyotake.miyazaki.jp>
国土交通省九州地方整備局 <http://www.qsr.mlit.go.jp/>
財団法人 砂防・地すべり技術センター <http://www.stc.or.jp/>
総務省消防庁 <http://www.fdma.go.jp/data/010409261332169522.pdf>
地震調査研究推進本部 <http://www.jishin.go.jp/main/>
宮崎県 <http://www.pref.miyazaki.jp/>
宮崎地方気象台 <http://www.fukuoka-jma.go.jp/miyazaki/miyazaki1.html>

本書に掲載した地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の、2万5千分の1地形図、5万分の1地形図、1/20万地勢図を複製したものです(承認番号 平17九複、第158号)

あとがき

本冊子は、宮崎県内で発生した過去の土砂災害について、宮崎県立図書館、関係市町村などから情報・資料収集を行い、また、地元住民への聞き取り調査や写真収集を行って、追跡調査を実施した結果を基に編集・作成したものです。

この冊子をご覧になって気づかれた点や、他にも災害関係の資料や写真をご存知でしたら、宮崎県土木部砂防課までご連絡を下さい。寄せられた情報や資料を基に、さらに詳しい災害関係の調査整理をするとともに、より分かりやすい冊子を作り、今後の防災行政に役立てたいと考えています。

宮崎県における災害文化の伝承

平成18(2006)年3月
企画: 宮崎県土木部・宮崎土木事務所
編集: 日本工営株式会社